

Adobe illustrator での入稿は、データ作成についていくつか**注意点**がございます。以下の**注意事項**をよくお読み頂きデータ作成をお願いいたします

また、カッティングシートは**プレビューの見た目ではなくパスのラインに沿ってカットされます**のでご注意ください

サイズは原寸サイズ

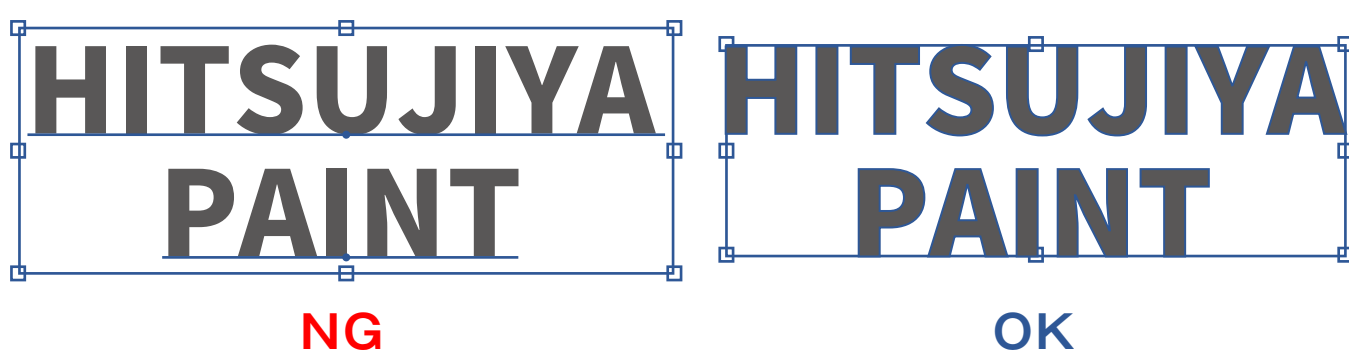
データ作成する際は、**必ず原寸サイズで作成**してください。弊社で拡大縮小したために、本来希望していない結果が出る可能性があります。

フォントのアウトライン化

すべてのフォントに対して「**アウトライン化**」をしてください。弊社が持ち合わせていない書体があると、ファイルが正しく開くことができません。アウトライン化したフォントはグループ化してください。

“ アウトライン化とは？

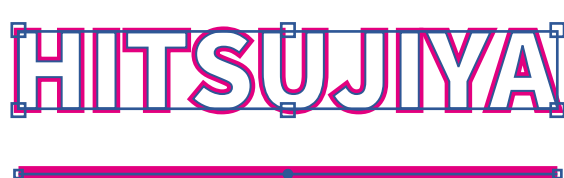
フォントが図形と認識されるようにする処理のことです。データを作成したパソコン以外のパソコンで開くと、インストールされているフォントがないなどの理由から、文字化けや文字位置のズレなどが発生します。「アウトラインを作成」をすることで、テキストが図形として認識され、別の環境のパソコンでも正しくフォントが表示することができます。



縁取りは線幅で指定しない

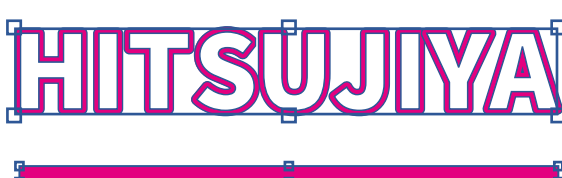
文字や線又は図形などの**線幅の指定**しているオブジェクトは**アウトライン化**してください。線ではなく塗りで作成してください。

【プレビュー画面】



NG

【アウトライン処理済み画面】



OK

パスを交差させない

文字隣接部分（赤○）が重なっていると、そのままカットしてしまいカッティングシートは作れません。「**パスファインダ**」の「**合体**」を行ってください。

【アウトライン化のみ】

Hitsujiya Paint

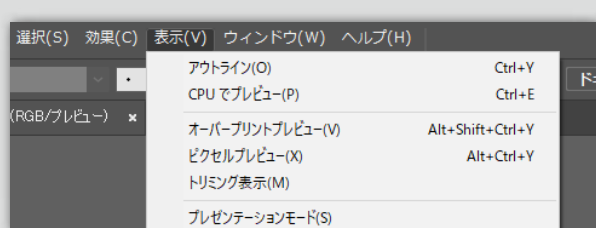
【アウトライン化のみ 隣接部分】

Hitsujiya Paint

【パスファインダ 合体処理済み】

Hitsujiya Paint

“ 隣接部分が「合体」処理されているかは
[表示] → [アウトライン]
で確認できます。



ご不明な点などがございましたら、
「**ご相談・お問い合わせはこちら**」より
ご連絡下さい。

